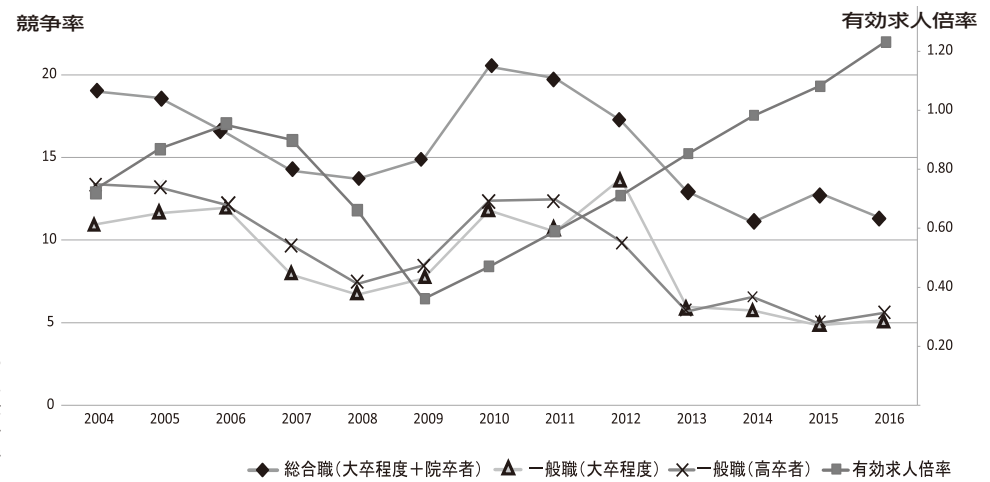


近年国家公務員の人気は低下していると言われてい
ます。その要因として、少
子化による若年労働者不足
や景気回復による民間企業
の採用意欲の高まりなどが
あげられます。図表は国家
公務員試験の競争率と有効
求人倍率の推移を表したも
のです。ここで、競争率は
試験申込者を合格者数で割
ったもので、人気の指標の
一つとして捉えることがで
きます。図表を見ると、有
効求人倍率が高くなると競
争率が低くなるという関係
になっており、実際景気が
良くなり働き口が増えると
国家公務員の人気が低くな
ることがわかります。
このような状況の中、個

国家公務員の質と給与



出所：『公務員白書』(人事院)の各年度版および『一般職業紹介状況(職業安定業務統計)』(厚生労働省)より著者作成。
注：2011年度以前は、総合職は国家Ⅰ種、一般職(大卒程度)は国家Ⅱ種、一般職(高卒者)は国家Ⅲ種である。
競争率＝申込者数／合格者数。
有効求人倍率はパートを除く。

優秀な人材を 惹きつけるためには

人的に懸念しているのは人
気の低迷で公務員の質が下
がるのではないかと言うこ
とです。一般的に高い競争
率を勝ち抜いたものほど平
均的に能力が高いと考えら
れます。たとえば、平成27
年度の国家公務員(総合職
および一般職)大卒程度
(V)の内定者を対象とし
た人事院の調査では、62・
7%の内定者が企業規模1
000人以上
の民間企業か
ら内定を得て
います。つま
り、国家公務



名古屋大学大学院
経済学研究科准教授
平野 大昌

員は民間で就職すれば大企
業で働くことができる能力
を有している可能性が高い
ということですが、よって、
人気の低迷し競争率が低く
なれば、より優秀な人材を
確保できない可能性が高ま
ります。昨今、公務員は残
業が多くその仕事はブラッ
クだとも言われています。
そうであれば、ますます人
気がなくなってしまうま
す。

他方、公務員は公僕なの
だから安い給料でも我慢す
べきであるというような風
潮があります。また、そも
そも民間に比べ給与が高
すぎると批判を受けます。公
務員の給与が税金で賄われ
ており、仕事の成果が目
に見えるものではないため、
このような風潮や批判は避
けることができません。し
かし、国家公務員は国を支
える重要な役割を担ってい
ます。そのため、優秀な人
材を惹きつけるために、そ
れなりの給与水準を許容す
ることも必要なのではない
でしょうか。もちろん、公
務員が真摯に国のために
尽くすことが前提ですが。

ひらの・だいすけ 労働経済学。
大阪府立大学大学院経済学研究科
博士後期課程修了。1980年生
まれ。

